2026 年 10 月 30 日
一般社団法人日本損害保険協会　中部北陸支部

元中日ドラゴンズ選手の和田一浩さんと交通ルール遵守等を呼びかけ

～岐阜県警察と連携し、交通安全啓発イベントを開催～

日本損害保険協会岐阜損保会（会長：有村暢晃、損害保険ジャパン株式会社岐阜支店長）は、岐阜県警察と連携し、10 月 24 日（土）、大垣市のソフトピアジャパンセンターで交通安全啓発イベントを開催しました。会場には約 130 人が来場し、元中日ドラゴンズ選手で野球解説者の和田一浩さんが一日交通部長を務め、来場者に交通ルールの遵守や反射材の着用を呼びかけました。

岐阜県の今年 1 月から 9 月までの交通事故による死亡件数は 36 件、死者数は 36 人で、前年同期からそれぞれ 4 件、4 人減少しています。一方、自動車乗車中の死者は 13 人（運転者 8 人、同乗者 5 人）で、前年同期を 2 人上回っています。こうした状況を踏まえ、岐阜損保会は、今年 9 月から生活道路における自動車の法定速度引下げ（60 ㎞/h から 30㎞/h へ）と夜間外出時の反射材着用を呼びかける啓発チラシ 35,000 部を作成し、岐阜県警察に寄贈することとしました。

イベントでは、冒頭に有村損保会長から岐阜県警察の桂川交通部長へ啓発チラシのパネルを贈呈しました。続いて、岐阜損保会が長年にわたり交通安全啓発活動に協力してきたことに対し、桂川交通部長から有村損保会長へ感謝状が贈呈されました。その後、桂川交通部長から和田さんへ一日交通部長に委嘱する委嘱状が手渡され、トークイベントが開催されました。

トークイベントでは、薄暮時間帯の交通事故を防ぐためのポイントや、岐阜県内でも増加している特殊詐欺の対策を紹介し、和田さんと来場者が交通安全や防犯への理解を深めました。

和田さんからは、野球と同じように交通にもルールがあるとして、ルール遵守を呼びかけました。また、自転車に乗る際は、野球でバッターボックスに入るときと同じようにヘルメットを着用して身を守り、交通事故の被害を少しでも減らすよう心掛けて欲しいと呼び掛けました。

イベントの最後には、会場付近で啓発チラシと反射材を来場者に配布しました。和田一日交通部長から反射材を受け取った来場者からは、「夜道を歩くときに、和田さんからもらった反射材を着けたい」との声がありました。

当支部では、今後も岐阜県警察などの関係機関と連携し、交通事故防止に取り組んでまいります。

啓発チラシの贈呈

トークイベントの様子

来場者に反射材等配付

啓発チラシ